

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.1.22)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	アイランドシティ物流センター	階数	地上1F
建設地	福岡県福岡市東区みなと香椎	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	3人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年
建物用途	工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2015年11月 予定	評価の実施日	2015年4月24日
敷地面積	10,001 m ²	作成者	古賀純作
建築面積	5,403 m ²	確認日	2015年4月24日
延床面積	5,403 m ²	確認者	古賀純作



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	67%
③上記+②以外の	67%
④上記+	67%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9

音環境	1.9
温熱環境	N.A.
光・視環境	2.6
空気質環境	3.8

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9

機能性	2.2
耐用性	2.6
対応性	4.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2

建物外皮の	N.A.
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

水資源	3.0
非再生材料の	3.1
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	4.3
地域環境	3.0
周辺環境	2.5

3 設計上の配慮事項		その他
総合 景観ガイドラインに基づき、道路や公共用地に面した部分に緑地を設け、また景観に配慮した色彩とした。		建物の屋根や外壁にフッ素樹脂塗装鋼板を採用することで、美観を確保し、建物の耐久性を上げる事で、長寿命化し結果としてLCCO ₂ 削減に寄与した。
Q1 室内環境 屋根を高くする事で、夏場の暑さに配慮した	Q2 サービス性能 腰壁をRCとすることで、フォークリフトに対する耐久性を向上させ、又荷摺り木を設ける事で、壁面の保護を行った。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地を10%以上確保し、海辺の土地に適した植物を選定している
LR1 エネルギー 高窓を設け、自然光の採光を行っている。	LR2 資源・マテリアル 床にリサイクル材を使用したアスファルトを使用している。	LR3 敷地外環境 敷地内の十分な駐車スペースを確保し、又、トラックの待機スペースを確保する事で、周辺の道路のスムーズな通行に配慮した

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される